

西村秀二教授 略歴・業績目録

略歴

- 昭和 27 年 5 月 13 日 高知県に生まれる
- 昭和 51 年 3 月 上智大学法学部法律学科卒業
- 昭和 51 年 4 月 上智大学大学院法学研究科博士前期課程入学
- 昭和 55 年 3 月 同 上 修了（法学修士）
- 昭和 55 年 4 月 上智大学大学院法学研究科博士後期課程入学
- 昭和 60 年 3 月 同 上 単位取得退学
- 昭和 60 年 4 月 上智大学法学部研究生（昭和 62 年 3 月まで）
- 昭和 62 年 4 月 上智大学法学部助手
- 昭和 63 年 4 月 富山大学経済学部講師
- 平成 2 年 4 月 富山大学経済学部助教授
- 平成 12 年 4 月 富山大学経済学部教授
- 平成 16 年 4 月 金沢大学大学院法務研究科教授

主要著書・論文等一覧

1 著書関係

- 刑法キーワード（有斐閣・共著）平成 4 年 3 月
- 資料集「安楽死・尊厳死・末期医療」（信山社・共著）平成 9 年 4 月
- 刑事法辞典（信山社・共著）平成 15 年 3 月
- プロセス演習刑法（信山社・共著）平成 21 年 4 月

2 論説

- 方法の錯誤（*aberratio ictus*）、正当防衛における第三者侵害 単著 昭和 57 年
3 月 警察研究 53 巻 3 号

概括的故意 (dolus generalis)、因果関係の錯誤 単著 昭和 57 年 5 月 警察
研究 53 卷 5 号

構成要件の錯誤と禁止の錯誤の限界 単著 昭和 57 年 5 月 警察研究 53 卷 5
号

共犯と錯誤 単著 昭和 58 年 6 月 警察研究 54 卷 6 号

いわゆる「条件付故意」について—未完成犯罪を中心として— 単著 昭和
62 年 2 月 上智法学論集 30 卷 1 号

胎児性致死傷 単著 昭和 62 年 6 月 警察研究 58 卷 6 号

故意・過失概念と条件付故意 単著 平成 6 年 10 月 阿部純二ら編『刑法基
本講座』第 2 卷 (法学書院)

日本の独占禁止法の適用除外規定について 単著 平成 6 年 11 月 『車博士
(韓国) 還暦記念論文集下巻』

香港のマナーローダリング罪と没収について 単著 平成 8 年 10 月 町野
朔ら編『現代社会における没収・追徴』(信山社)

日・英の尊厳死論について 単著 平成 9 年 12 月 吉原節夫代表 平成 8 年
度文部省特定研究『現代型訴訟に関する総合的研究』

早まった結果惹起について 単著 平成 13 年 3 月 富大経済論集 46 卷 3 号

スポーツ傷害の刑事責任 単著 平成 14 年 11 月 内田文昭先生古稀祝賀論文
集編集委員会編『内田文昭先生古稀祝賀論文集』(青林書院)

「中国」 単著 平成 15 年 9 月 町野朔編『環境刑法』(信山社)

「文化財」 単著 平成 1 年 9 月 町野朔編『環境刑法』(信山社)

「自然環境の保護」 単著 平成 15 年 9 月 町野朔編『環境刑法』(信山社)

フーリガン規制法をめぐる 単著 平成 16 年 7 月 鈴木守・戸苅晴彦編著
『サッカー文化の構図』(道和書院)

3 判例研究

条件付故意 単著 平成3年4月 刑法判例百選Ⅰ総論(第3版)(有斐閣)

条件付故意 単著 平成9年4月 刑法判例百選Ⅰ総論(第4版)(有斐閣)

牽連犯か併合罪か 単著 平成15年4月 刑法判例百選Ⅰ総論(第5版)(有斐閣)

共犯からの離脱 単著 平成20年2月 刑法判例百選Ⅰ総論(第6版)(有斐閣)

同姓同名の使用と人格の同一性 単著 平成20年3月 刑法判例百選Ⅱ各論(第6版)(有斐閣)

「強姦罪における実行の着手」 単著 平成26年8月 刑法判例百選Ⅰ総論(第7版)(有斐閣)

4 翻訳

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(1) 単著 平成23年3月
金沢法学53巻2号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(2) 単著 平成23年7月
金沢法学54巻1号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(3) 単著 平成24年2月
金沢法学54巻2号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(4) 単著 平成24年7月
金沢法学55巻1号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(5) 単著 平成25年7月
金沢法学56巻1号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(6) 単著 平成27年7月
金沢法学58巻1号

ジョン・バーンズ「カナダにおけるスポーツと法」(7) 単著 平成28年3月
金沢法学58巻2号

5 所属学会

日本刑法学会会員